

- 問1 河川が山間部から平野へ出る場所ではなく、海や湖に流れ込む場所において、水の流れが緩やかになることで運ばれてきた土砂が積み重なり、形成された平坦な地形を何と呼びますか。(2025年 秋田公立入試 類似)
1. 三角州 2. 扇状地 3. 台地 4. 丘陵
- 問2 大陸を流れるナイル川やアマゾン川などの世界的な大河川と比較したとき、日本の河川に見られる地形的、統計的な特色を説明したのものとして最も適切なものはどれか。(2018年 京都公立入試 類似)
1. 山地から海岸までの距離が短いため、長さが短く、流れが急である 2. 広大な平野を流れるため、長さが長く、流れが緩やかである 3. 山地と平野の標高差が小さいため、長さが短く、流れが緩やかである 4. 大陸棚が広がっているため、長さが長く、流れが急である
- 問3 沿岸部に位置する徳島市などの都市部では、地震に伴う津波被害を最小限に抑えるための防災対策が進められています。浸水が想定される区域において、地形の標高や避難経路、避難場所を住民に周知するために作成される地図を何といいますか。(2023年 兵庫公立入試 類似)
1. ハザードマップ 2. 地形図 3. 等高線図 4. ロードマップ
- 問4 鳥取県の松江市に見られる「日本海側の気候」の統計資料では、12月や1月の降水量が他の月に比べて際立って多くなる傾向があります。この理由を説明したのものとして最も適切なものはどれですか。(2023年 滋賀公立入試 類似)
1. 冬に吹く北西の季節風が日本海の上空で湿気を蓄え、山地を越える際に雪や雨を降らせるため。 2. 冬から春にかけて吹く偏西風が、大陸からの乾いた空気を直接運び込むため。 3. 夏から秋にかけて発生する台風が、日本海側で勢力を強めることが多いため。 4. 冬の期間だけ暖流の勢いが増し、地表付近の空気が急激に冷やされて霧が発生するため。
- 問5 中部地方の中央部に位置する飛騨・木曾・赤石の3つの山脈は、標高3,000m級の山々が連なる険しい地形から「日本の屋根」と呼ばれています。この3つの山脈を合わせた総称として正しいものを選びなさい。(2023年 新潟公立入試 類似)
1. 日本アルプス 2. 越後山脈 3. 奥秩父山塊 4. 八ヶ岳
- 問6 ある地域の地形を詳しく調べると、山の谷の出口付近にあたる「扇状地」の上部(地点X)に集落があることがわかりました。この地点Xにおいて、大雨が降った際や、近くの山で噴火が起きて火山灰が降り積もった後に、特に警戒すべき自然災害は何ですか。(2024年 北海道公立入試 類似)
1. 山から土砂や石が水と混ざり合っ  
て一気に流れ下る土石流 2. 海底での地震によって発生し、海  
岸線に押し寄せる津波 3. 台風などの低気圧によって海面が  
異常に上昇する高潮 4. 地震の揺れによって地面が泥水の  
ようになる液状化
- 問7 過去に発生した地震、津波、洪水などの災害情報を後世に伝えるために設置された石碑であり、2019年には国土地理院によって、石碑を模した形の中に縦線が入った図形の地図記号が新たに制定されたものを何と呼ぶか。(2023年 鳥取公立入試 類似)
1. 自然災害伝承碑 2. 戦災復興記念碑 3. 万葉歌碑 4. 忠魂碑
- 問8 多目的ダムが担う「利水」と「治水」という2つの側面について、その仕組みを正しく説明しているものはどれですか。(2020年 香川公立入試 類似)
1. 洪水を防ぐためにダムの貯水量を調整して下流の浸水を防ぐ「治水」と、貯めた水を農業や工業、生活に役立てる「利水」の両立を図っている。 2. 河川を直線化して水を速く海へ流すことで洪水を防ぐ「利水」と、高い堤防を築いて住宅地を守る「治水」をダムで行っている。 3. ダム湖を観光地やレジャー施設として開放する「利水」と、ダム周辺の植林によって保水力を高める「治水」を主な目的としている。 4. 海水の逆流を防いで真水を確保する「利水」と、干拓によって農地を広げる「治水」のために、主に河口付近に建設される。
- 問9 2万5千分の1の地形図において、函館駅周辺の市街地の南西に位置する函館山周辺の土地利用について述べたものとして、適切なものはどれですか。なお、この地域の山岳部の斜面には等高線が密集しており、急傾斜地となっています。(2021年 兵庫公立入試 類似)
1. 等高線の間隔が狭く急斜面であるため、寺院や神社の記号が見られ、公園などとして利用されている。 2. 等高線の間隔が広いので、平坦な地形を活かして大規模な工場団地が建設されている。 3. 山脚部の緩やかな傾斜地を利用して、広大な果樹園が広がっている。 4. 標高が低く平坦な土地が続いているため、広範囲にわたって水田として利用されている。
- 問10 冬の日本海側で雪が降るメカニズムについて、大陸から吹く風が日本列島に到達するまでの変化を模式的に説明した資料に基づいた記述として、最も適切なものはどれですか。(2021年 愛知公立入試 類似)
1. 大陸からの風が海上で水蒸気を得て雲を発達させ、山脈にぶつかって雪を降らせる。 2. 大陸からの風が海上で乾燥し、山脈を越えた後に太平洋側で雪を降らせる。 3. 海上の暖流によって暖められた季節風が、山脈にぶつかる前に海上で雨としてすべて降り注ぐ。 4. 大陸からの風が日本海側の平野部で水蒸気を得て、山脈にぶつかることで上昇気流となる。
- 問11 中部地方から近畿地方にかけての沿岸部にある志摩半島では、複雑な形状の海岸線が発達しています。このような地形の成り立ちと特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。(2023年 石川公立入試 類似)
1. 山地が沈降してきた深い入り江は波が穏やかであり、真珠などの養殖に利用されている。 2. 河口付近に土砂が堆積してきた平坦な地形で、水はげが悪いため主に水田として利用される。 3. 沿岸流によって運ばれた砂が細長く突き出すように堆積しており、景勝地として知られる。 4. 浅い海を堤防で囲って水を抜き、人工的に陸地を広げた場所であり、大規模な農地となっている。
- 問12 日本の諸河川の特徴を比較した統計資料において、利根川は日本で第1位の「流域面積」を持つと説明されます。この流域面積という用語の説明として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。(2018年 京都公立入試 類似)
1. 降った雨や雪が、その河川の支流や本流に流れ込む範囲の面積 2. 河川の源流から河口までを結んだ、本流の直線距離 3. 河川の堤防の内側にある、水が流れている部分の面積 4. 河口において、1秒間に海へと放出される水の量
- 問13 九州地方の熊本県に位置し、世界でも最大級の規模を誇るカルデラを持つ山として適切なものはどれか。(2016年 山口公立入試 類似)
1. 阿蘇山 2. 桜島 3. 雲仙岳 4. 霧島山

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 三角州	河川による堆積作用によって形成される地形のうち、河口付近にできるものを三角州と呼びます。流れが穏やかになることで、運搬されてきた細かい土砂が底に沈み、長い年月をかけて陸地化します。これに対し、山地から平野に出る谷口付近に形成される扇状の地形は「扇状地」と呼ばれ、形成される場所や土砂の粒の大きさが異なります。
問2	答え 1 山地から海岸までの距離が短いため、長さが短く、流れが急である	日本の国土は約4分の3が山地や丘陵地で占められており、中央部には「背骨」とも呼ばれる高い山脈が連なっています。これらの山地から海までの距離が非常に短いため、雨水が一気に海へと流れ下る構造になっています。このため、大陸にある主要な河川と比較して、日本の川は急勾配で流れが速いという特徴を持ちます。
問3	答え 1 ハザードマップ	自然災害による被害を予測し、被害の範囲や避難場所を地図上に示したものをハザードマップ（被害予測図）と呼びます。地理的分野では、身近な地域の防災対策として頻出の用語です。単に避難所を覚えるだけでなく、自分が住む地域の浸水リスクや避難経路を事前に確認しておくことが、防災教育において重視されています。
問4	答え 1 冬に吹く北西の季節風が日本海の上空で湿気を蓄え、山地を越える際に雪や雨を降らせるため。	日本海側の気候では、冬にシベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、対馬海流（暖流）の影響で水蒸気を多く含んだ状態で日本列島に到達します。これが奥羽山脈や中国山地などの山地にぶつかって上昇気流となることで、大量の雪や雨をもたらします。そのため、冬の降水量が夏と同じか、それ以上に多くなるのが特徴です。
問5	答え 1 日本アルプス	中部地方には大規模な3つの山脈が南北に走っており、これらを総称して日本アルプスと呼びます。イギリス人のガウランドが命名し、後にウェストンが世界に紹介したことでこの名が定着しました。飛騨・木曾・赤石の各山脈は、それぞれ北アルプス・中央アルプス・南アルプスという別名でも知られています。
問6	答え 1 山から土砂や石が水と混ざり合って一気に流れ下る土石流	山の谷の出口付近や、そこから広がる扇状地の頂部付近は、上流から流れてきた土砂が堆積してできた地形です。大雨が発生すると谷に集まった水が土砂を押し流しやすく、さらに火山の噴火によって山肌に火山灰が積もっていると、少ない雨でも土砂災害が発生しやすくなります。このような現象を土石流と呼び、谷の出口付近はもっともその被害を受けやすい危険な場所となります。
問7	答え 1 自然災害伝承碑	過去の災害の教訓を風化させず、地域住民の防災意識を高めることを目的として設置されている。地形図にその位置を表示することで、自分たちが住んでいる場所でかつてどのような被害があったのかを容易に確認できるようになり、適切な避難行動につなげる狙いがある。
問8	答え 1 洪水を防ぐためにダム貯水量を調整して下流の浸水を防ぐ「治水」と、貯めた水を農業や工業、生活に役立てる「利水」の両立を図っている。	多目的ダムの主な役割は、自然災害から社会を守る「治水」と、資源としての水を利用する「利水」に大別されます。具体的には、大雨が予想される際にダムの空き容量を確保して洪水を防ぐ水量調節が「治水」にあたり、貯めた水を農業用水や工業用水として供給したり、発電に利用したりすることが「利水」にあたります。
問9	答え 1 等高線の間隔が狭く急斜面であるため、寺院や神社の記号が見られ、公園などとして利用されている。	地形図において等高線の間隔が狭い場所は、傾斜が急であることを示しています。函館山の斜面のような急傾斜地では、大規模な市街地化や広大な農地の造成が難しいため、森林のまま残されたり、公園や寺社などが配置されたりすることが多くあります。実際の函館山の地形図においても、果樹園の地図記号は見られず、公園や歴史的な寺社が点在する様子が読み取れます。
問10	答え 1 大陸からの風が海上で水蒸気を得て雲を発達させ、山脈にぶつかって雪を降らせる。	冬の季節風は、大陸にあるシベリア高気圧から日本列島に向かって吹き抜けます。この風はもともと乾燥していますが、相対的に温度の高い対馬海流（暖流）の上を通過する際、海面から蒸発する水蒸気を大量に取り込みます。水蒸気を含んだ空気は日本列島の険しい山脈に突き当たると上昇し、冷却されて雲へと発達します。この一連のプロセスにより、山脈の北西斜面にあたる日本海側で雪が降り、山を越えた風は乾燥して太平洋側に吹き下ろします。
問11	答え 1 山地が沈降してできた深い入り江は波が穏やかであり、真珠などの養殖に利用されている。	リアス海岸は、山地が沈降して谷の部分に海水が入り込んでできたため、水深が深く、複雑に入り組んだ海岸線を持っています。このため、外海の荒波の影響を受けにくく、真珠やカキ、ワカメなどの養殖に適しています。他の選択肢は、三角州、砂州、干拓地についての説明です。
問12	答え 1 降った雨や雪が、その河川の支流や本流に流れ込む範囲の面積	流域面積とは、その河川の支流なども含めて、降った雨や雪が最終的にその川へと集まってくる範囲全体の面積を指します。利根川はこの面積が約16,840平方キロメートルと日本で最も広く、関東地方の約半分に相当する広範囲から水を集めています。なお、川の長さ（流路延長）において日本最大の河川は信濃川です。
問13	答え 1 阿蘇山	阿蘇山は熊本県に位置する活火山で、その周辺には東西約18km、南北約25kmに及ぶ広大なカルデラが広がっています。このカルデラ内には多くの人々が生活しており、鉄道や道路が整備されている点も大きな特徴です。桜島や雲仙岳も九州を代表する火山ですが、これほど大規模な陥没地形（カルデラ）を中心とした説明には阿蘇山が最も適しています。